

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事	平成29年7月25日
兵庫県神戸市灘区都通3丁目3番18号	ケンコーマヨネーズ 株式会社 代表取締役社長 炭井 孝志

環境マネジメントシステムの名称	環境管理対策委員会（省エネ法に基づく独自のシステム）
適用範囲	工場・販売拠点・関連会社（環境管理推進委員会開催）
導入年月日	年 月 日
認証番号	
基本方針	「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づき、地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量の抑制に寄与することを基本方針とする。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	○エネルギー原単位の前年比1%の改善を図る。 ○廃棄物のおける、ゼロエミッション活動によりリサイクル率99%以上とする。
目標を達成するための取組の内容	工場環境管理推進委員会の月1回開催
目標を達成するための取組の進捗状況	会議を通じて、従業員全員に啓蒙図っています。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	月1回の会議において、目標に対しての進捗管理及び各環境管理項目等確認をしています。 平成28年度においては、生産重量が前年比2.3%の増加に対し、原油換算で11.3%増加となりエネルギー効率が悪化しました、その主な要因は次の通りです。 ・ドレッシング第2ライン増設（28年6月1日稼働）に伴い、テスト期間及び経済ロット数未達による。 ・北海道産馬鈴薯の台風被害により品質が悪く加工段階で歩留低下により、作業時間が1日当り2時間（28年10月～29年5月）延びたことによる。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境法令・環境条例改正や方向性等の情報を定期的に収集しています。 「法令に基づく各届出書手続きや基準値等を遵守しています。」
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境管理対策委員会及び環境管理推進委員会の会議を通じて、見直し必要におうじて年1回改訂を実施しています。 現行の目標及び取組内容により一定の成果がみられたことから、今年度も同一のシステムにより運用しています。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。